

# 新型コロナウイルス感染症流行下の 日本人旅行者の動向（その1）

～JTBF旅行実態調査結果より～

2020年6月1日

公益財団法人日本交通公社  
観光地域研究部 市場調査チーム

# 調査概要

調査名 : JTBF旅行実態調査【全体調査】  
調査対象 : 全国16～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出）  
調査方法 : ウェブ調査  
調査期間 : 2020年5月1日～5月11日  
標本の大きさ : 50,000人

回答者属性 :

年齢 (歳)	男性								女性								合計
	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の 大きさ (人)	783	2,473	3,873	6,481	4,555	3,978	3,729	25,872	801	2,667	3,801	5,575	4,501	3,943	2,840	24,128	50,000
構成比 (%)	1.6	4.9	7.7	13.0	9.1	8.0	7.5	51.7	1.6	5.3	7.6	11.2	9.0	7.9	5.7	48.3	100.0

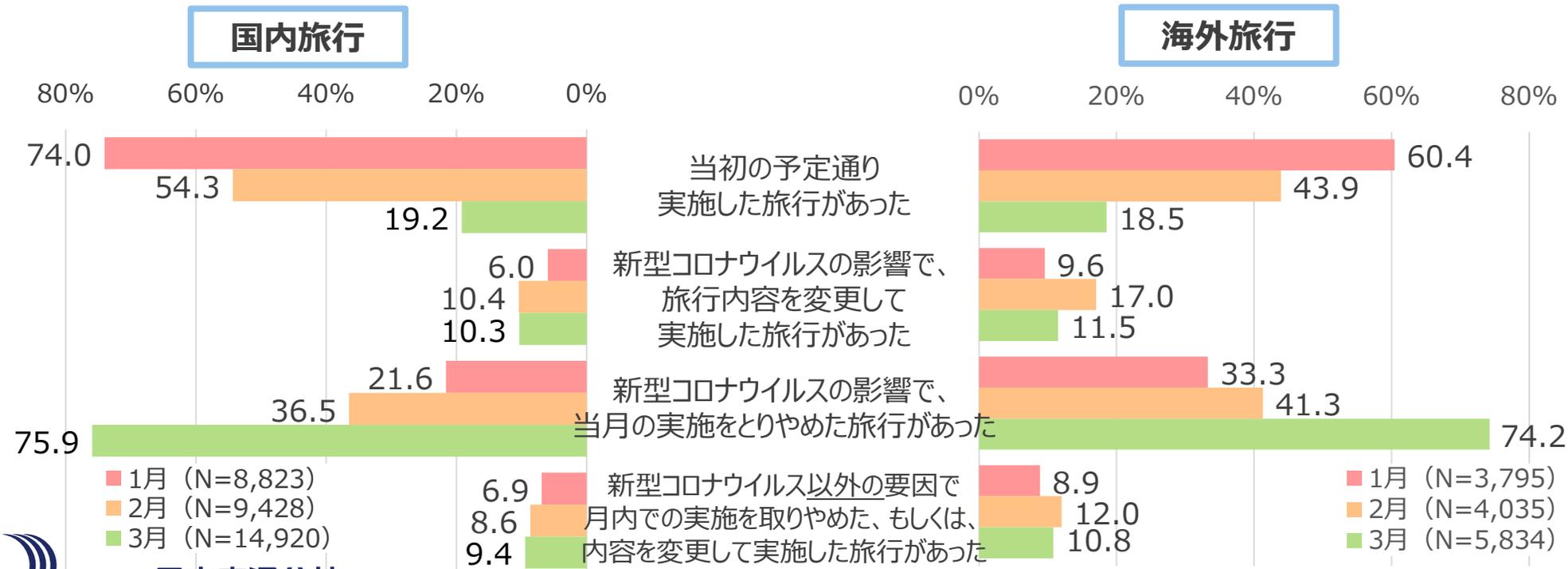
# 調査結果

<b>1. 新型コロナウイルスの旅行への影響</b>	…	p.4
(1) 新型コロナウイルスの旅行への影響	…	p.4
(2) 旅行をとりやめた時期	…	p.7
(3) 旅行をとりやめた理由	…	p.8
<b>2. この先（4～6月）の旅行予定</b>	…	p.9
<b>3. 新型コロナウイルス収束後の旅行意向</b>	…	p.10

# 国内旅行・海外旅行ともに月を追うごとに中止率高まる

- 「新型コロナウイルスの影響でとりやめた旅行があった」と回答した割合は、国内旅行・海外旅行ともに月を重ねるごとに増加しています。特に、3月に入り旅行のとりやめが急増しています。
- 1~2月は海外旅行のほうが「とりやめた旅行があった」割合が高く、海外旅行に対する危機感が先行していましたが、3月になると海外旅行・国内旅行でほぼ同じ割合となりました。
- 一方で、「当初の予定通り実施した旅行があった」という回答は、3月には国内旅行・海外旅行ともに2割以下にとどまりました。

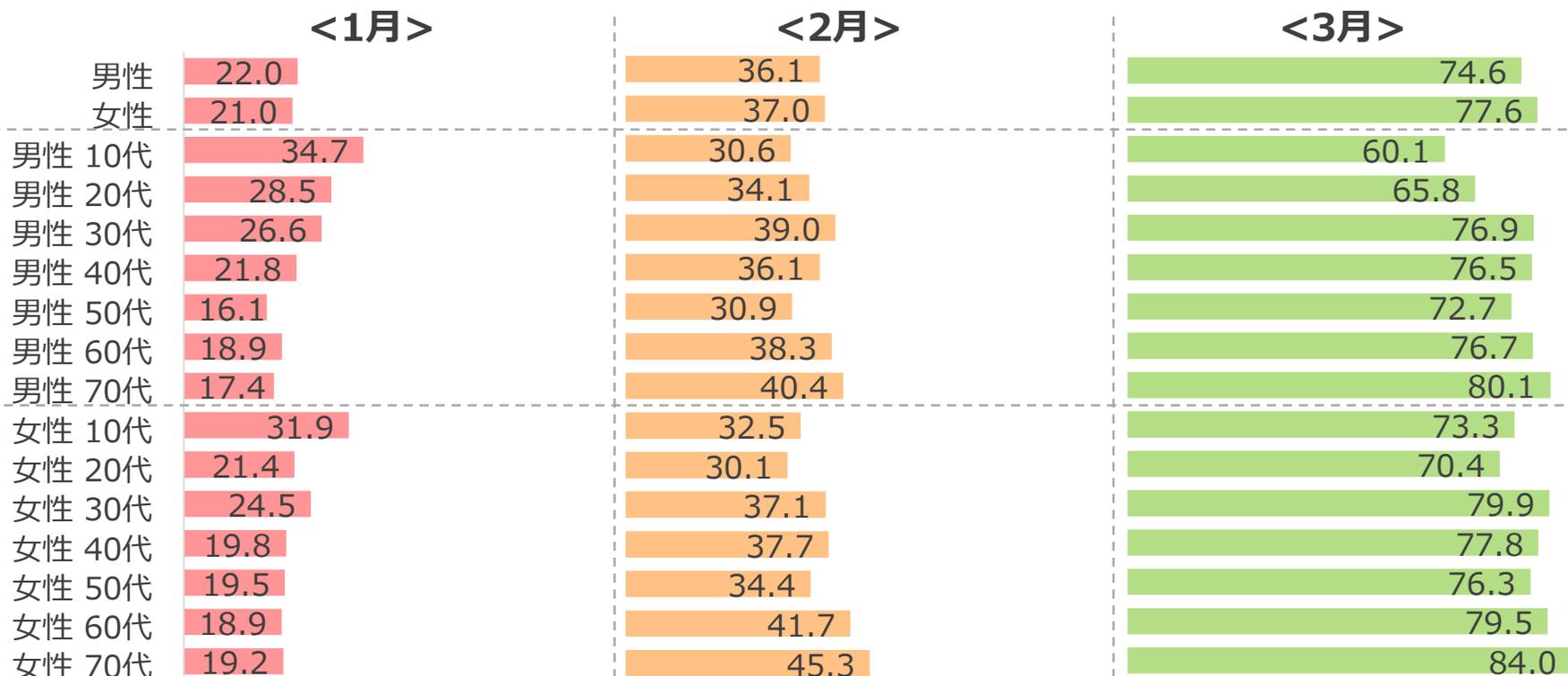
Q. 新型コロナウイルスの影響で、中止・延期した観光・レクリエーション旅行がありましたか。  
 (日帰り含む・旅行を計画していた人のみ)【複数回答】



# 国内旅行：新型コロナの影響でとりやめた旅行があった割合は 1月は10代が最も高く、2・3月は70代が最も高い

- 国内旅行実施予定者のうち、「新型コロナウイルスの影響でとりやめた旅行があった」と回答した割合は、1月は男女ともに10代が3割超と最も高く、50代以上は2割未満に留まりました。
- 一方、2月から3月にかけてはその傾向が逆転し、10～20代は卒業などの記念旅行の影響なのか他年代に比べて「とりやめた旅行があった」割合が低く、30～40代及び60～70代は高くなっています。

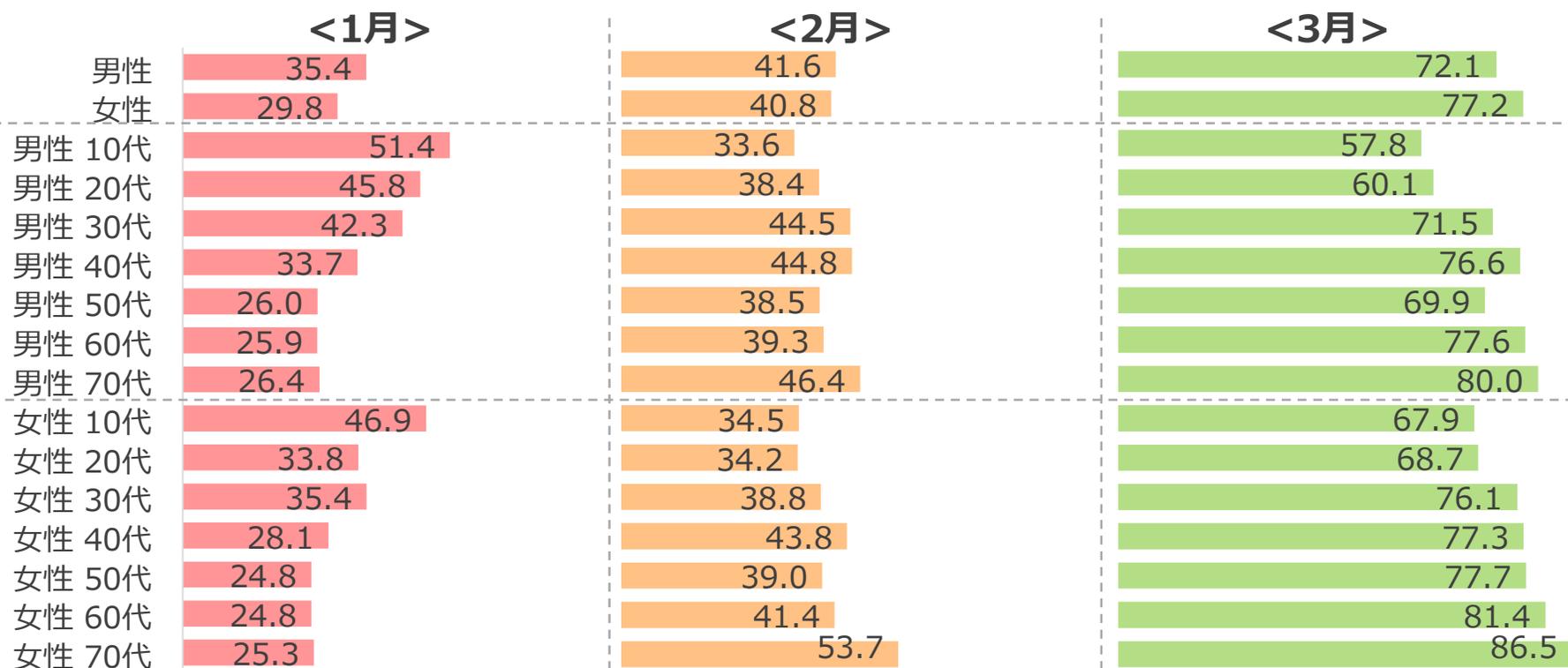
国内旅行実施予定者のうち、「新型コロナウイルスの影響でとりやめた旅行があった」と回答した割合【%】



## 海外旅行：新型コロナの影響でとりやめた旅行があった割合は 1月は若年層ほど高く、2・3月は年代が上がるにつれ高まる

- 海外旅行実施予定者のうち、「新型コロナウイルスの影響でとりやめた旅行があった」と回答した割合は、1月は若年層ほど高く、2月から3月にかけては、年齢が上がるにつれて高まる傾向がみられます。
- 海外旅行においても、国内旅行と同じ傾向がみられました。

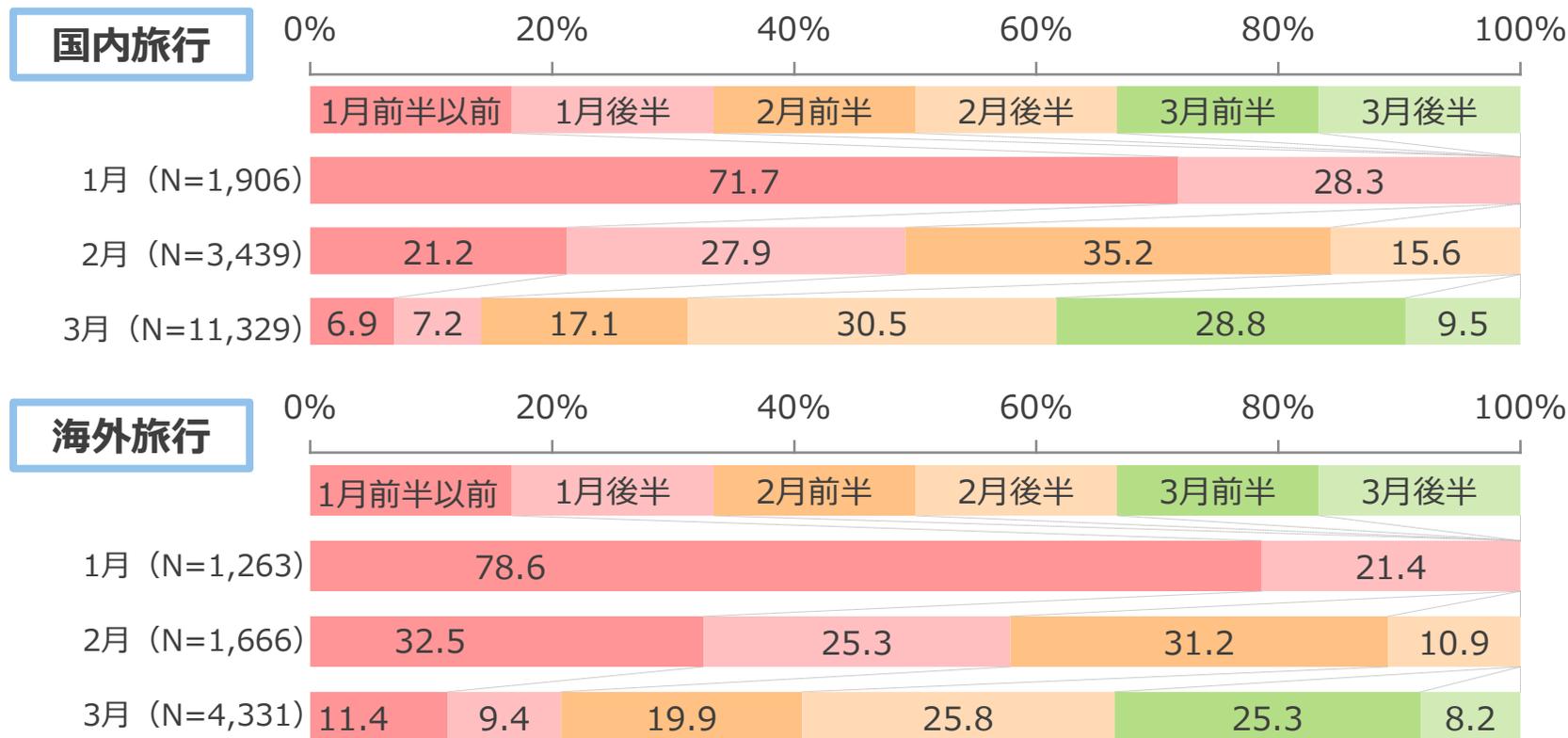
海外旅行実施予定者のうち、「新型コロナウイルスの影響でとりやめた旅行があった」と回答した割合【%】



## 3月の旅行とりやめ 6割以上が2月までに中止を決定

- 2月に実施予定の旅行のとりやめは、国内旅行は予定者の約5割、海外旅行は約6割が1月中に中止を決定しています。3月予定の旅行のとりやめは、国内・海外ともに1月中の中止決定が1~2割、2月中の中止決定が4~5割弱となりました。
- 国内・海外ともに同じ傾向がみられますが、海外のほうがやや早めにとりやめを決定しています。

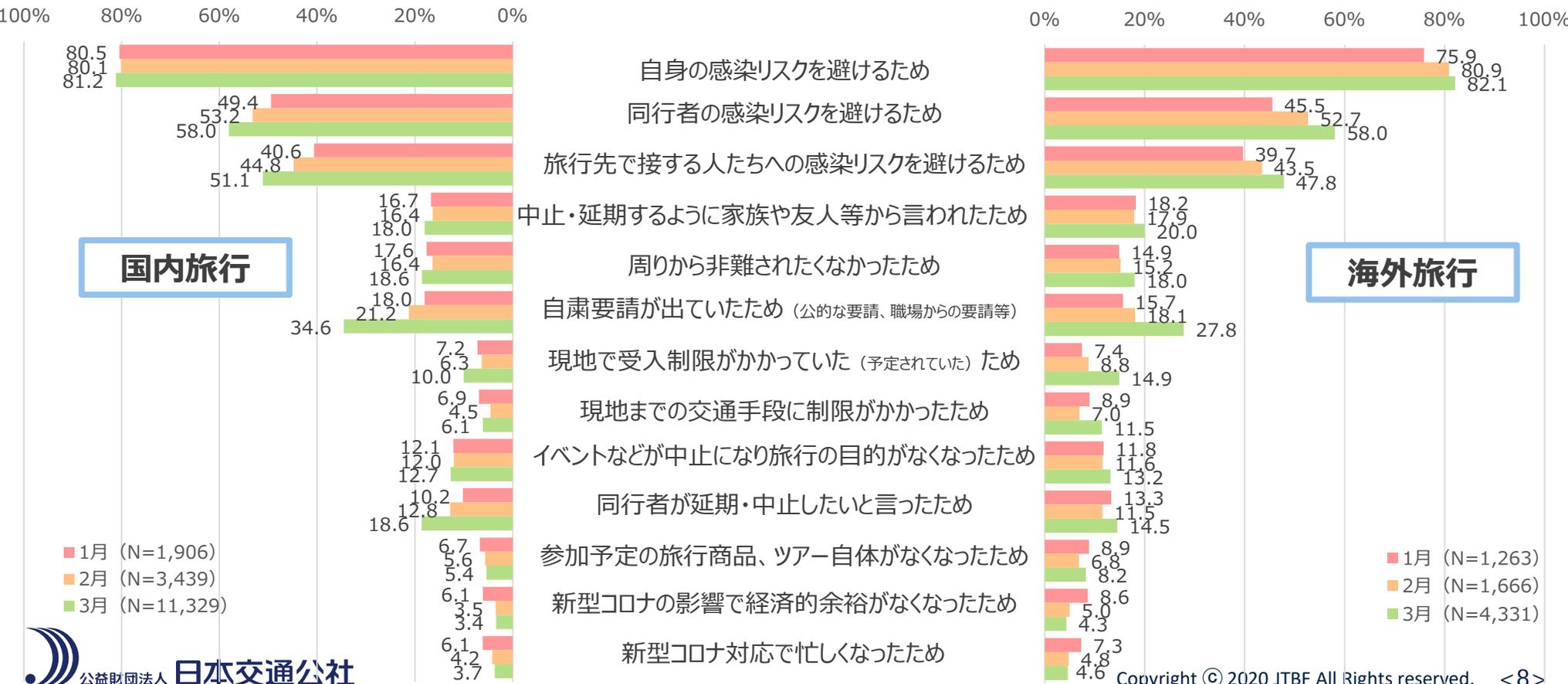
Q. 旅行のとりやめを決定した時期はいつですか。(新型コロナの影響で旅行をとりやめた人のみ)



# 旅行とりやめの理由 「自身の感染リスクを避けるため」 約8割

- 実施をとりやめた理由は、すべての月で「自身の感染リスクを避けるため」が最も多くなりました。続く「“同行者”や“旅行先で接する人たち”の感染リスクを避けるため」は、月を追うごとに高まっています。
- 「自粛要請が出ていたため」も3月に増加していますが、海外より国内の方が高い傾向となりました。

Q. 旅行をとりやめた理由について、当てはまるものをお選びください。(新型コロナの影響で旅行をとりやめた人のみ)【複数回答】

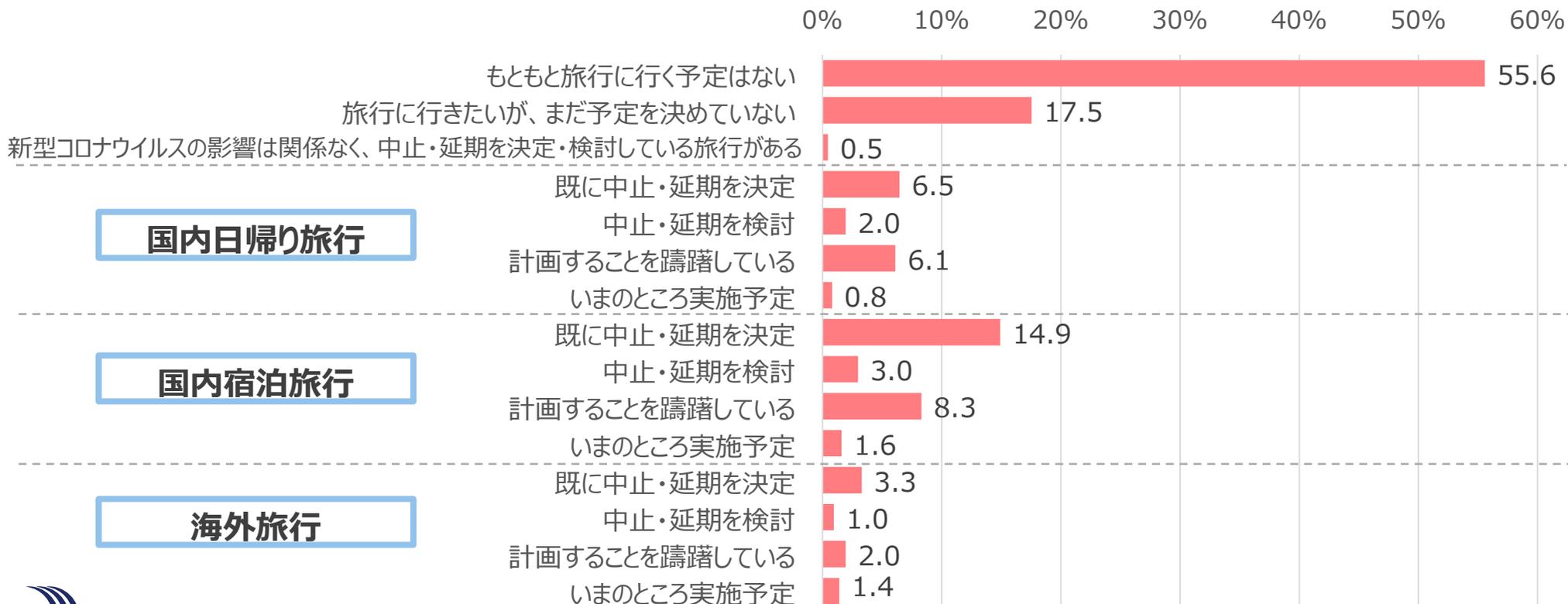


## 4～6月の宿泊旅行実施予定率は国内・海外ともに1%台に留まる

- 4月から6月までの旅行予定について尋ねたところ、いずれの旅行とも、「いまのところ実施予定」との回答は1%程度に留まりました。
- 国内宿泊旅行において「既に中止・延期を決定」が1.5割を占める一方で、「旅行に行きたいが、まだ予定を決めていない」と旅行実施意向を示す回答も2割程度になりました。

※本調査は5月上旬に実施しています。

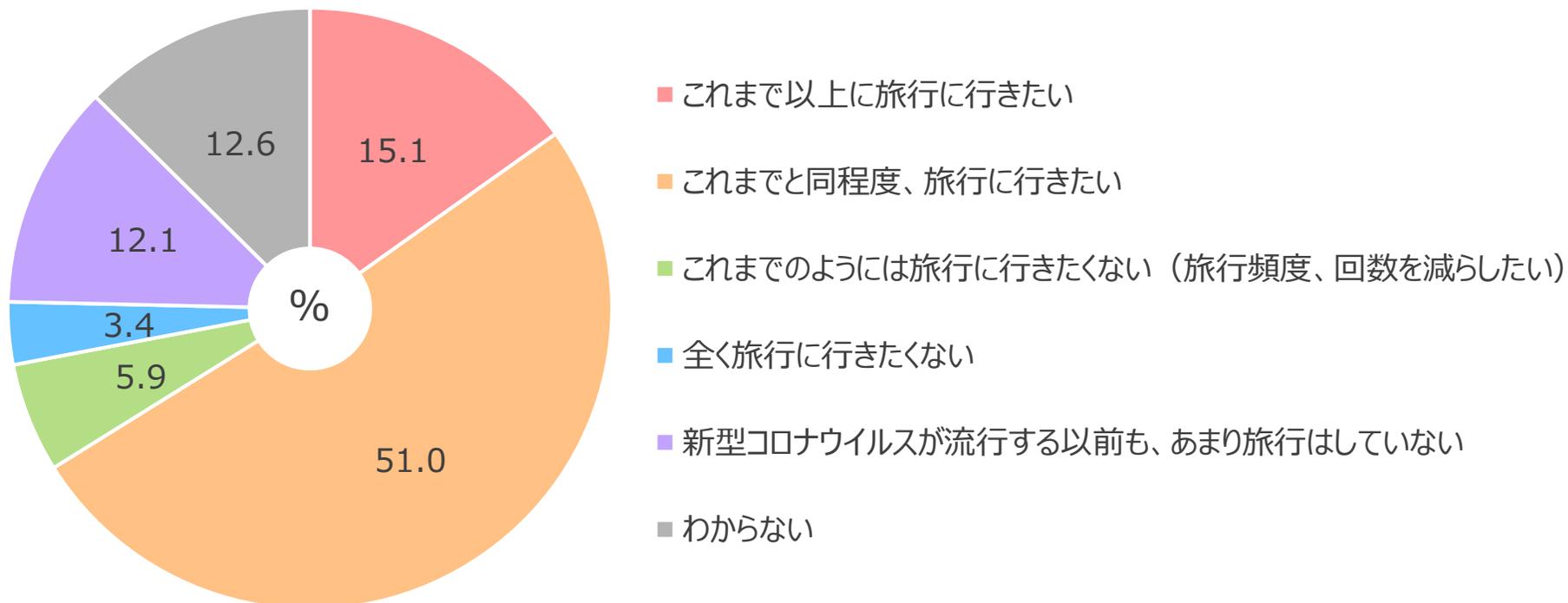
Q. この先の3ヶ月間（2020年4～6月）の観光・レクリエーション旅行の予定についてお答えください。【複数回答】



## 新型コロナウイルス収束後の旅行意向 **約7割が前向き**

- 新型コロナウイルス収束後の旅行意向は、15.1%が「これまで以上に旅行に行きたい」、51.0%が「これまでと同程度、旅行に行きたい」と回答しました。
- その一方で、「これまでのようには旅行に行きたくない」という回答が5.9%あり、旅行実施に用心深い人たちもみられます。
- 12.6%の「わからない」という回答者は、今後の情勢をみながら慎重に判断する層だと考えられます。

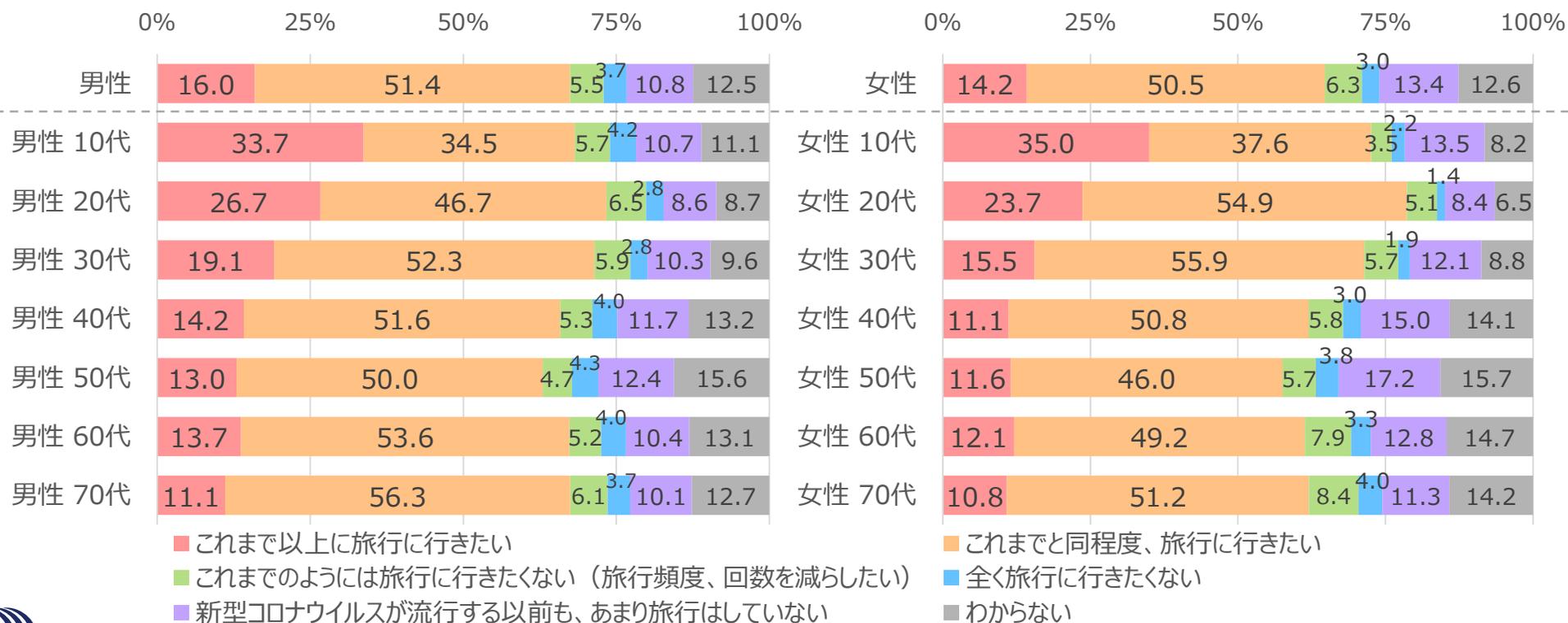
Q. 新型コロナウイルスが収束したら、旅行に行きたいですか。



## 新型コロナ収束後 若年層で高まる旅行意向

- 10代では男女ともに「これまで以上に旅行に行きたい」と回答した割合が3割を超え、他年代に比べてより積極的な旅行意向がうかがえます。
- 一方、60~70代女性では「これまでのようには旅行に行きたくない」と回答した割合が8%程度占め、コロナ禍を経て旅行に対して消極的になった割合が他年代に比べてやや高くなっています。

### Q. 新型コロナウイルスが収束したら、旅行に行きたいですか。（性・年代別）



# 新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その1）

～ JTBF旅行実態調査結果より ～

**2020年6月1日発行**

**公益財団法人日本交通公社**

**観光地域研究部 市場調査チーム**

五木田 玲子 / 伊豆 菜津美 / 仲 七重 / 安原 有紗 / 中島 泰 / 寺崎 竜雄

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要です。下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化情報センター

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>